

当院で精子採取手術をご検討の皆様へ 注意点

- ① 精巣から精子を取り出す手術を精巣内精子採取手術または精巣内精子吸引手術と言います。英語では、略語でTESE(テセ)と言われる手術になります。
- ② 基本的には無精子症という精液中に精子の全くない状態の症例がこの手術の適応になります。しかし一部無精子症ではない症例でも症例によっては、この手術を行う場合があります。
- ③ 当院では、一番大切にしていることは、あくまで妊娠、そして出産までのゴールにいかにして速やかに、安全に到達できるかということです。
- ④ したがって精子が無いから精子を採取する場合のみならず、より良い精子が無いか探し出す手術であり、かつ射精まで時間がかかって精子の質の低下も懸念される場合には、より新鮮でかつ良好な精子を探す手術である、といった目的があります。これは最終的な妊娠・出産の目的の為です。
- ⑤ またできるだけ全症例で精子採取のタイミングと採卵のタイミングを一致させて、フレッシュな顕微鏡受精、つまり精子の凍結保存なしで初回の顕微鏡受精、体外受精を行えるように努力しております。
- ⑥ 通常は採取した精子も凍結をいったんすることは少なくありません。この方がいろんな段取りとして医療者側は楽ではありますが、妊娠率を少しでも上げるためには、フレッシュで精子採取、採卵もタイミング合わせてすることが当然望ましいから当院では一生懸命取り組んでいます。
- ⑦ そのため、卵子の成長によっては緊急で精子採取の日程が、採卵に合わせて、急に数日変更になることもあり、今まで全例でその緊急変更には対応しており、あくまで、大切な卵子のために、精子採取のタイミングについても努力してベストを尽くしています。
- ⑧ 手術方法にも、患者さんの体の為を考えてできるだけ負担軽減をする工夫を取り入れています。その一つは、出来るだけ精巣組織自体を脱転(陰囊の外に完全に精巣を搬出して外に出すことを脱転と言います)させずに、陰囊皮膚を開窓した部位から覗き込むような形の顕微鏡視野で、助手が巧みに精巣を固定、移動させ、脱転した時と同じ処置を陰囊開窓部から行うことを行っています。
- ⑨ 脱転自体が疼痛も強く、精索自体への血流障害も起こす可能性もあるので、出来るだけ精巣の障害を最小限にして、さらに疼痛、苦痛も最小限にするための、手術方法の工夫であります。ただあまりに視野が悪い場合や、精巣組織のサンプルが非常に多く必要になってくる症例の場合、陰囊切開部拡大し従来の脱転精巣での手術になる可能性もあることはご理解ください。
- ⑩ また麻酔方法については、皮膚表面の非注射による塗布麻酔、局所麻酔、精索ブロック麻酔、消炎鎮痛薬、鎮静薬の併用にて、かなり良好な麻酔効果があり苦痛はそれほどないように手術ができています。
- ⑪ そして、当院は男性科クリニックとして、精巣の機能は非常に重要視しています。つまり、精巣は精子を作るだけでなく、男性ホルモンを作る大切な臓器でもあるからなのです。精子採取の手術合併症の一つは術後の男性ホルモン低下です。これを最大限予防したいと考えています。
- ⑫ 精子のサンプル回収に必要な最小限の侵襲は許されるのですが、絶対に余計な侵襲や切除は精巣には加えないことをとても大切にしています。
- ⑬ したがって、従来はシンプル精子採取(あるいは古典的精子採取とも呼ばれます)といってすべて肉眼のみで手術を行って精巣組織を大まか採取する方法もあったのですが、これでは精巣の白膜の下の微細な血管は傷ついてしまう可能性が高まります。よって当院では全症例、顕微鏡下に観察し、精巣組織損傷を最小限にするため微細血管も全部温存するように最大限の努力をしています。このため術後の男性ホルモンの低下については、ほとんどで予防できるようになってきました。

- ⑭ 手術室も完全に院内完備、かつ手術用顕微鏡やあらゆる手術道具に関しても、品質の問題ない高品質のものを完備しています。そしてあらゆる機材の滅菌や清潔管理についても安全な高水準のレベルで対応を全症例で行っています。また非常に経験豊富な手術看護師も常勤で皆様の看護面でもしっかりバックアップしていきます。
- ⑮ また手術の際、培養士の立ち合いも当然全症例で行ってまいります。基本的に10数年以上のキャリアがあり、かつ豊富な体外受精、顕微授精の実績を多数積んだベテランの培養士のみでの立ち合いにしています。(勉強の為、サブの培養士が付き添うことはあります)。迅速に、手術中、手術室にて精子採取サンプルの確認、精子の有無、質の確認について行います。そして精子を見つけるのみではなく、さらにより良好な精子の回収ができるように全員のスタッフが全力で取り組んでいます。
- ⑯ しかし手術については、一生懸命に取り組んでも残念ながら望む精子の採取などができない場合もあります。この場合にもまことに申し訳ないのですが、手術料金の返還などは出来かねますのでご了承ください。
- ⑰ またせっかく精子の採取に成功しても、顕微鏡受精や体外受精などでは不成功になることもありますし、凍結した精子も使いきってしまうこともあります。その際には、時に、再度の精子採取手術が必要になったりする場合がありますが、再手術も選択肢としては可能です。ただ再手術選択の場合も再度同様な料金が必要になりますのでご了承ください。
- ⑱ 精子の保存・凍結・融解についてはJISART(日本生殖医療標準化機関)に準じた同意書を全例でいただくことにもしています。ご夫妻での承諾書署名などに、ご理解ください。
- ⑲ 無精子症の方、極端に精子所見が不良の方、年次で精子所見が悪化する方などは基本的には染色体検査、無精子症の関連の遺伝子検査も強く推奨されますが、個人情報との度合いの高い検査になりますので最終的にあくまで任意です。希望時は速やかに申し付けてください(料金は当院料金表参照、平日午前中に検査採血可能です)。またお子様の出生において、精子所見に関することが継代(引き継がれる可能性)されることもあることは記憶しておいてください。
- ⑳ 治療を受ける施設の選択、治療方法の選択、については、あくまでご夫妻の意見が一番大切です。料金も施設によって異なり方針も多少違うこともあります。だからご夫妻が納得した希望の場所で治療をお受けになることが最も大切です。自由意志で方針を決定してください。

どのような場合であっても当院は全力で真摯に皆様の幸福の為、お手伝いさせていただきます。

何かご質問あれば当院スタッフまでご遠慮なくお問い合わせください。

医療法人男健会北村クリニック ☎ 075-746-6301